



社会福祉法人 水交会

# まつくらだより

第 37 号

〒014-0102  
大仙市四ツ屋字小又35-1

社会福祉法人水交会  
まつくら

令和3年5月発行  
TEL 0187 (66) 1413  
FAX 0187 (66) 1407

メールアドレス  
E-mail matukura@suikokai.or.jp



まつくら入所式



## 昔があつて今がある

社会福祉法人水交合理事長 高 井 慶 藏

また昔話をして…と嫌がる方も多いと思いますが、あえて思い出してみたい。昔があつて今があるということこそ少し辛抱下さい。大曲市福祉作業所の設立当初からの方にとっては、大変に懐かしく思い出されるのではないのでしょうか。一緒に作業していましたが「しみず」「まつくら」に分かれました。他の施設に移られた方もあります。福祉作業所や「まつくら」で一緒に頑張ってきた保護者の方も寄り年並や病には勝てず、他界された方もあります。残されている者には、思い出して懐かしむことが何よりの供養になると思います。作業所設置当所からの故人となられた方々のご冥福をお祈りしようではありませんか。

話が前後し、福祉作業所を「まつくら」で一緒に働いた保護者の動静にふれましたが、そもそも作業所設置の経緯から綴り、これまでの功績に誠意を表したいと思えます。

平成四年大曲養護学校が新設されました。小、中、高の三学部、十二年間の特殊教育学校の始まりです。これまでは、香川県と同じぐらいの面積をもった大曲、仙北地域に養護学校がなかったのです。この運動に積極的に参加してくださった方々がたくさんあります。十二年間の運動でしたが、卒業後の対応も大きくアピールした結果、三年後に大曲市福祉作業所を設置していただいたのです。「生き生きと働ける環境づくりをみんなの手で」ということをかかげ、平成七年四月七日に開所式を行いました。定員十名、現員十名、指導員二名という体制でのスタートでした。毎年高等部卒業生が入所し、福祉作業所九年間に、数名の退所者がおりましたが、二十五名の現員となり、いよいよ窮地に陥った。推移と日常活動については後回しにしよう。



# まつくら入所式

4月9日、入所式を体育館で行いました。感染予防のため規模を縮小し、まつくら単独での式となりましたが、新入所者1名を迎え新たなスタートを切りました。



高井理事長よりご挨拶をいただきました。



利用者を代表して佐々木敦哉さんから歓迎の言葉を述べてもらいました。



新利用者の齋藤量介さんが誓いの言葉を述べています。



小林施設長より通所証明書を受け取りました。



まつくら保護者会よりお花をいただきました。



齋藤量介さんの

自己紹介

齋藤 量介

まつくらに入所して

音楽を聞く事

太鼓をかまぼた

ポリバンク作業をがんばる

先は私たちと、いろいろたまたま作業を  
かんはりたいです。





## 大仙雪まる隊

大仙市の除雪ボランティアである、大仙雪まる隊に参加しました。期間中に3回の出勤依頼がありました。除雪困難なお宅を訪問しました。悪天候の日もありましたが利用者の皆さんとても頑張っておりまして。

## 3/19 年度末反省会

3月19日、施設内で年度末反省会を行いました。外出しての反省会とはなりませんでしたが、今年度の頑張りに対する賞状を担当職員から1人ずつもらい、利用者の皆さんはとても喜んでおられました。お昼には美味しいお弁当を食べて、今年度を締めくくりました。



## 地域交流展示会

地域交流展示会がイオン大曲店で開催され、佐々木順一さんが絵を出品しました。「友情の森」というタイトルの順一さんの絵は水彩ペンでカラーフルに描かれています。展示会では出品された他の作品も鑑賞してきました。



## 松倉地区 古紙・缶回収

冬期間お休みしていた松倉地区の古紙・缶回収を4月から再開しました。今回も地域の皆様よりご協力をいただき、たくさん回収することができました。ありがとうございました。



## あたたかい 善意

〈物品〉

・秋田県立大曲農業高等学校

郷土芸能部様

(郷土芸能の舞台を収めたDVDを寄贈していただきました。ありがとうございました。)



# 地域との交流

## 松倉地区 農家 佐々木 冷子さん

まつくら創立以来、ずっと利用者さんから農作業を手伝ってもらっています。まつくらとは長い付き合いになり、お願いしたい作業を簡単に伝えても正確にやってくれて助かっています。特に繁忙期は家族だけでは手が足りなく困っていました。が、利用者さんに連日頑張ってもらい大助かりです。私は20年間日記を付けていますが、「今日はまつくらに来てもらい、〇〇をやってもらった」と書く日が多くなりました。今後も利用者さんに作業を頑張ってもらいたいと思います。



## 神岡縄文農園 高橋 徹さん

今年度より農家実習でお世話になっています。農園ではサクランボ、ブドウ、ブルーベリー、椎茸など多種多様の作物を育てているだけでなく、それらを加工して販売も行っています。利用者さんにはこれまでサクランボの受粉や、ブドウ棚の作業してもらいました。非常によく頑張ってくれるので、今後も継続して作業に来てもらいたいと思います。そのためには、飽きずに楽しんで作業をしてもらいたいです。



## これからの主な行事

七月	避難訓練
十月	まつくら・しみず合同祭 交通安全教室、研修旅行
十月	もちつき交流会 クリスマス忘年会
三月	年度末反省会

## 苦情解決について

令和3年度も職員一丸となり、より良いサービス提供に努めて参ります。利用者・家族の皆様方より、多くのお声をお聞かせ頂ければと思います。

○苦情解決責任者 管理者

小林 竜一

○苦情受付担当者 補佐サビ管

齊藤 恭子

## 編集後記

やっと訪れた春でしたが、今年のまつくらの桜は例年より花の量が少なく寂しいものでした。それでも桜が咲いたことで気持ちは晴れやかになりました。コロナウイルスの影響で何かと自粛を求められることが多い日が続いていますが、日常の何気ない些細なことに喜びを感じながら過ごしていきたいものですね。